

1880
1890

卒業制作

6単位（通信授業4単位、面接授業2単位）

白尾隆太郎教授、上原幸子教授、清水恒平准教授、藪内新太講師

授業の概要と目標

これまでにコミュニケーションデザインコース、デザインシステムコースで学習してきた内容の集大成として、各自がテーマを設定して研究を行い、作品としてまとめる。

この「卒業制作」という科目は、与えられた課題にそって作品を制作するという科目ではない。これまで学習してきた科目および各自のバックグラウンドの中からテーマを各自が設定し、作品を制作する過程において研究の方法を学び、個々の知識や技術をあわせて利用する方法を考え、その結果として、各自がこの学科を卒業するのに相応しい作品を生み出すことが目標である。

「卒業制作」は、年度の当初から計画し、4年次の各コースの専門科目も「卒業制作」を念頭に置きながら受講する方が良いだろう。学生とは電子メール・面接指導などを用いて意見の交換や助言、情報提供を行う。

「卒業制作」の提出物としては多様な形態が考えられる。グラフィックデザイン、コミュニケーションデザイン、メディアデザイン、情報システム、情報通信ネットワーク、データベースなどの各分野を俯瞰し、各自のテーマをまとめるのにふさわしい形態を模索し、制作することが期待される。

課題の概要

各自が考えるデザイン情報学の領域のテーマを自由に設定し、担当教員の指導の下に研究し、制作を行う。テーマによっては、他の科目の教員に指導を受けることも可能である。教員や他の学生とのディスカッション、資料・事例調査などを通して各自のテーマや作品を検討し、質の高い研究、制作を行う方法を学びながら、その最終到達点としての作品を提出する。個人による制作を原則とする。

*課題については、学習指導書『卒業制作 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

[面接授業]

各自のテーマ・作品案などに関して計画書を用意し、プレゼンテーションを行う。教員、他の学生とディスカッションをし、また、テーマ・作品の具体化に関して教員からの個別指導を受ける。

OLP オンラインプラス [準備] —BBS上での計画案相談

Web キャンパス学生メニューの【ネットフォーラム】にて計画案の相談を行う。

OLP オンラインプラス [中間] —BBS上での中間アドバイス

Web キャンパス学生メニューの【ネットフォーラム】にて制作中の課題に対して中間アドバイスを行う。

[通信授業]

テーマを決定するまでに文献・資料・事例を調査するのはもちろんのこと、オンラインでテーマを共有し担当教員と相談しながら、決定したテーマを作品としてまとめる。既修の技術や知識を総合し、場合によっては新たに必要な技術を習得しながら、最終提出物を制作する。

成績評価の方法

各ステップでの学習状況を勘案し、卒業制作提出作品、全体講評の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 以下のすべての条件を満たすこと。

- ・デザイン情報学科各コースに在籍していること。
- ・デザイン情報学科各コース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049の特例を除く）。
- ・デザイン情報学科各コース4年次必修科目の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] デザイン情報学科各コース4年次必修科目

オンラインプラス（Web上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。

教材等

学習指導書：『卒業制作 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

卒業制作展で発表し、講評を行う。